

政策シート

(政策名) はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して
(予算費目名) 交通政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。

- 交通計画推進事業
都市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。
- 公共交通推進事業
使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
沿線住民の生活基盤となっている本鉄道を存続し、安定したサービスを提供するため、経営支援を行う。

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	781,636	928,600	858,810	776,056	458,961
決算	768,021	740,233	823,555	773,715	
人件費(A)	97,300	97,300	97,300	93,900	86,900
報酬(B)	226	332	423	518	854
年間経費(予算又は決算+A+B)	865,547	837,865	921,278	868,133	546,715

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
公共交通機関利用者数	万人	5,802	目標	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802
			実績	5,170(H26実績)	5,223(H27実績)	5,192(H28実績)	5,194(H29実績)	
主要な駅、バス停の利用者	千人	約27,200	目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
			実績	27,017(H26実績)	27,575(H27実績)	27,632(H28実績)	27,848(H29実績)	
			目標 実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。

- 交通計画推進事業
都市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。
- 公共交通推進事業
使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
沿線住民の生活基盤となっている本鉄道を存続し、安定したサービスを提供するため、経営支援を行う。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 交通計画推進事業
円滑性等の向上を目指した計画に基づき、順次、関係者との協働により施設改良事業等への移行に向け協議を進めた。
- 公共交通推進事業
地域バス及び公共交通空白地有償運送におけるICTシステム導入による実証運行を行った。継続して運行改善を行う。路線バス退出、減便の意向が示されたことに伴う代替案を検討した。継続して実現化に向け協議を進める。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業
県及び沿線市町と協力して経営支援を行った。継続して支援を行うとともに、令和元年度からの天竜浜名湖鉄道株式会社による経営計画案に基づき、新たな支援計画を策定するとともに、天竜浜名湖線市町会議において第3次地域公共交通連携計画を策定した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	交通計画推進事業	○	○	○		67,221	32,767	4.8			854
2	公共交通推進事業	○	○	○		347,794	314,894	4.7			
3	天竜浜名湖鉄道経営支援事業					105,953	101,693	0.3	0.6		
4	交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)					25,747	9,607	2.1	0.4		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						546,715	458,961	11.9	1.0		854

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 交通計画推進事業

◇事業目的・事業対象

本市の都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定するとともに、計画に基づく事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.153】

● 浜松21世紀都市交通会議等運営事業

・浜松21世紀都市交通会議にて総合交通計画の進捗管理、見直しを行うとともに、地域公共交通会議にて路線バス退出、減便の意向が示されたことに伴う代替案やICTを用いた地域バス等の実証運行について、効果検証と実証運行終了後の運行方法について協議、検討を行う。

● 総合交通計画推進事業

・現在見直し中の浜松市都市計画マスタープランが示す将来都市構造との整合を図るとともに、内陸部への企業集積やバス運転手不足など公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、当初計画策定から10年が経過する令和2年度の公表を目指し浜松市総合交通計画の見直しを行う。

・JR弁天島駅においてエレベーター等設置に向けた駅の構造物等調査を行う。

・浜松駅北口の浜松郵便局前中央地下道のバリアフリー化実現に向けて、関係者との協議を行う。

・国、民間が研究開発を進めている次世代交通システムについて情報収集を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H13	-	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	14,320	15,068	65,917	16,788	32,767
	決算	13,603	14,995	49,291	32,553	
	国・県支出			10,431	5,079	4,000
	市債			7,600	3,700	
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	13,603	14,995	31,260	23,774	28,767
人件費(報酬等) (千円)		226	332	150	518	854
人件費 (千円)		35,000	35,000	35,000	35,000	33,600
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1、11.2、11.7、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定することで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
公共交通機関利用者数(万人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802	5,802	
実績値	5,170(H26実績)	5,223(H27実績)	5,192(H28実績)	5,194(H29実績)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					Ⅲ-4(1)イ		H27~H30	R1~R4
主要な駅、バス停の利用者(千人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	
実績値	27,017(H26実績)	27,575(H27実績)	27,632(H28実績)	27,848 (H29実績)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
IT等を活用とした地域バスの実証運行(地域)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					1	2	3	
実績値								153
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 浜松21世紀都市交通会議等運営事業
- ・ 浜松21世紀都市交通会議にて総合交通計画の進捗管理を行うとともに、地域公共交通会議にて地域バスの実証運行や改善運行について検討を行う。また、退出・減便が示された路線バスについて対応策の協議を行う。
- 総合交通計画推進事業
- ・ 浜松駅南口駅前広場改良事業・国交付金事業[決算5,079千円(うち前年度繰越金5,079千円)]
 防災安全・社会資本整備交付金(道路) 市道:道路改良 1路線(砂山17号線)
 ・単独事業 [決算11,410千円(うち前年度繰越11,410千円)]
- ・ 浜松市総合交通計画増補版に位置付けた「交通ネットワーク検証エリア」について、工場立地に伴う交通状況の変化に対応するため企業、地域、交通事業者等との関係者協議を行い、時差出勤や浜北駅からの企業バスの運行や道路管理者による交通安全対策、交通管理者による信号現示調整など、ソフト・ハード両面からの対策を実施する。
- ・ 浜松駅南口周辺の交通の整流化及び歩行者の交通安全の向上のため市道砂山17号線の改良工事を行うとともに、北口周辺についてはバリアフリー化案に伴う図案作成を行い、関係者との協議を行う。
- ・ 国、民間が研究開発を進めている次世代交通システムについて情報収集を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・ 浜松21世紀都市交通会議及び地域公共交通会議を3回、地域公共交通活性化研究会を4回開催した。
- ・ 交通ネットワーク検証エリアについて産業部、土木部、都市整備部による庁内検討会を組織し、交通混雑緩和に向けて交差点改良や交通安全対策等のハード施策、企業への時差出勤や企業バス運行の依頼等のソフト施策の両面から対策を実施した。また、立地企業や交通事業者、地元自治会等の関係者と対策についての協議、意見交換を行った。
- ・ 浜松駅南口について市道砂山17号線の改良工事を実施し、利便性及び安全性向上のため歩きやすい歩行空間を創出した。北口については地下道のバリアフリー化実現に向けて改良案を作成し、交通管理者協議を実施した
- ・ 国が研究開発を進めている自動運転技術を活用した交通システムについて情報収集を行うとともに、地域バス等へのICT導入での実証運行を行い、自動運転プロジェクトへ参画した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・内陸部への企業集積に伴う交通混雑への対応について、産業部・土木部と連携しソフト・ハード両面からの対策を実施した。特に、ソフト施策は、立地企業との協議を行うとともに、時差出勤や企業バス運行等、企業自らの対策へのアンケート調査を実施した。
・浜松駅南口において、送迎目的の車両を駅南地下駐車場へ誘導し、地上での混雑緩和を図った。駅南地下駐車場20分以内駐車台数 H29:87,601台、H30:113,470台

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・現在見直し中の浜松市都市計画マスタープランの将来都市構造への整合や公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、令和2年の公表を目指し浜松市総合交通計画の見直しを進める。
・路線バス退出、減便の意向が示されたことに伴う代替案を実現化し、公共交通の維持に努める。
・将来の交通ネットワークの検討にあたっては、国や民間が研究開発を進めている自動運転技術を活用した次世代交通システム等について情報収集を行うとともに、地方への展開を見据え社会実験等があれば積極的に参画を図る。

補助シート (事業名) 交通計画推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
153	IT等を活用した地域バス実証運行 1地域	IT等を活用した地域バス実証運行 2地域	IT等を活用した地域バス実証運行 2地域	IT等を活用した地域バス実証運行 2地域

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 公共交通推進事業

◇事業目的・事業対象

地球環境問題、高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.84】【R1-R4重点戦略項目 No.152、195】

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進める。
- ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(3路線)※10月以降2路線
- ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(阿多古線)※10月以降:北遠本線(国・県補助)
- 市民生活に必要なバス路線等の公共交通について、地域の実情に合う運行形態を目指す地域公共交通網形成計画の策定作業を行う。
- 地域バス12路線について改善運行策を検討し、生活交通の確保に努める。
- 交通結節機能の強化を図るため交通事業者が整備したサイクル&ライド用駐輪場及びパーク&ライド用駐車場に対し、補助金の交付を行う。
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して運送の欠損金及び設備更新事業の一部に対して補助金を交付し、交通空白地域等での移手段を確保する。(2団体)
- UDタクシーを導入する交通事業者等に対し、車両導入促進事業費として国の補助採択と協調し補助金を交付する。
- 鉄道事業者の行方駅のバリアフリー化施設整備事業に対して補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H13	—	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	311,025	453,622	409,684	241,795	314,894
	決算	298,655	266,937	393,483	224,108	
	国・県支出	629				
	市債					
	その他	13,022	11,203	8,689	5,469	3,994
	一般財源	285,004	255,734	384,794	218,639	310,900
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)				273		
人件費(千円)		35,000	35,000	35,000	35,000	32,900
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0	4.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1、11.2、11.7、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図ることで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
主要な駅、バス停の利用者(千人)					Ⅲ-4(1)イ		84 152	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	
実績値	27,017(H26実績)	27,575(H27実績)	27,632(H28実績)	27,848(H29実績)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
JR弁天島駅のバリアフリー化(%)							195	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					10	100	100	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
遠鉄八幡駅のバリアフリー化(%)							195	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					10	100	100	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.84】

- 地域公共交通網形成計画の策定に向けた基礎調査を行う。
- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進める。
- ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(3路線)※10月以降2路線
- ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(阿多古線)※10月以降:北遠本線(国・県補助)
- 市民生活に必要なバス路線を新たに運行、または現在の路線を地域の実情に合う運行形態とするため、実証運行を行う。
- ・地域バスの改善運行・実証運行を継続する。(実証後の改善運行12地域、その内1地域ICT実証運行)
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して運送の欠損金を補助することにより、公共交通空白地域での移動手段を確保する。(2団体)
- NPO法人及び地域バスそれぞれに適したICTシステムを検討し、導入することで利用者増を図る。
- 交通結節機能の強化を図るため交通事業者が整備したサイクル&ライド用駐輪場に対し、補助金の交付を行う。
- UDタクシーを導入する交通事業者等に対し、車両導入促進事業費として国の補助採択と協調し補助金を交付する。
- 鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化施設整備事業に対して補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・天竜区、北区のバス利用者へのアンケート等を行い、地域公共交通網形成計画策定に向けた基礎データ収集を行った。
- ・路線バス補助金については、国、県等と協調して補助金を交付することにより路線を維持した。
- ・地域バス12路線の実証運行を実施し、一部地域の運行方法の見直しを行い収支改善を図った。
- ・地域住民の利便性向上を目的とし、引佐地域バスにICT運行システムを導入した。
- ・遠州鉄道線におけるトレインフェスタに対し補助金を交付し、公共交通の活性化と利用促進を図った。
- ・公共交通空白地有償運送を実施している2団体に対して運行事業支援費として補助金を交付した。
- ・NPO法人がんばらまいか佐久間に対し、地域活性化を目的としたICT予約システムによる実証運行を行った。
- ・UDタクシーを導入する交通事業者に対し、車両導入促進事業費として補助金を交付した。(補助台数:15台)

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地域公共交通網形成計画策定に向け基礎調査を行い、現状把握と課題の整理を行った。
- ・地域バス、補助路線、自主運行バス路線全てにおいて、利用実態に併せた運行を行ったが、一部路線バス退出、減便への意向が示されことに伴い、路線維持のため代替案を検討した。
- ・鉄道駅及びバス停へのサイクル&ライド用駐輪場整備について、交通事業者による効果的な用地確保ができなかったことから補助を見送った。
- ・公共交通空白地有償運送を実施する2団体に補助金を交付し、交通空白地域での移動手段の確保に寄与した。
- ・ICTを活用し、引佐地域バス及び佐久間地区での公共交通空白地有償運送において実証運行を行った。
- ・UDタクシー車両導入促進事業によりインバウンド対応や高齢者、障がい者などの移動手段環境の整備に寄与した。
- ・鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化施設整備事業については、国補助が不採択だったため補助を見送った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・地域公共交通網形成計画について、令和2年度の公表に向けて策定を進める。
- ・路線バス退出、減便の意向が示されたことに伴う代替案を実現化し、公共交通の維持に努める。
- ・地域バスについて、効率的で持続可能な運行ができるよう、地域交通検討会において利用実態や地域の実情に応じた運行計画を策定し、改善運行を進める。
- ・ICT予約システムの導入による公共交通空白地有償運送において利用状況を分析し、実証運行終了後の運行方法について検討する。
- ・ICT運行システムの導入による引佐地域バスの利用状況を分析し、他地域への導入への検討を行うとともに、地域バスの利用者増加を図るとともに、実証運行後の運行方法について検討する。
- ・鉄道駅及びバス停への整備済みのサイクル&ライド用駐輪場、パーク&ライド用駐車場については、活用状況を確認するとともに、新規の整備への用地確保については交通事業者と連携し交通結節点強化による利便性向上を図っていく。

補助シート (事業名) 公共交通推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
152	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善
195	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・交通事業者との協議 ・駅構造調査 【遠鉄八幡駅】 ・交通事業者との協議 ・詳細設計	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・交通事業者との協議 ・詳細設計 【遠鉄八幡駅】 ・交通事業者との協議 ・工事着手	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・交通事業者との協議 ・工事着手 【遠鉄八幡駅】 ・完成	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・完成

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
84	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善	総合交通計画に基づき、バス路線の新設または改善

事業シート (事業名) 天竜浜名湖鉄道経営支援事業

◇事業目的・事業対象

沿線住民の生活基盤となっている天竜浜名湖鉄道を存続し、安定した沿線住民へのサービスを提供するために経営支援を行う。

◇事業の概要

●経営助成事業(補助金)

・天竜浜名湖鉄道(株)の経営安定化と、安全な列車運行のため必要な施設整備を図ることに対する助成を行う。

・平成30年度に天竜浜名湖鉄道(株)が策定した経営計画に基づき支援を行うもの。

(経営計画:令和元~5年度における、経営助成及び施設整備費の計画)

・負担率は、県:1/2 沿線市町1/2。

●魅力向上事業

・天竜浜名湖鉄道の魅力向上を目的とした沿線の緑化を行い、天浜線の利用促進や沿線地域の交流人口の増加を図り、地域の活性化を図る。

●天竜浜名湖鉄道経営助成基金積立金

・天竜浜名湖鉄道の経営支援を行うために必要な資金である天竜浜名湖鉄道経営助成基金について、基金の管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市天竜浜名湖鉄道経営助成基金に関する条例	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	452,192	450,472	378,187	512,567	101,693
	決算	452,192	450,472	376,549	512,566	
	国・県支出	105,700	105,700	105,700	139,866	
	市債					
	その他	287,807	291,619	242,129	328,690	32,003
	一般財源	58,685	53,153	28,720	44,010	69,690
一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		6,300	6,300	6,300	4,260	4,260
人工	正規	0.9	0.9	0.9	0.3	0.3
	再任用(h31)				0.6	0.6
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.1、11.2、11.7、11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

天竜浜名湖鉄道(株)の経営安定化と、安全な列車運行のため必要な施設整備を図ることで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
(営業収益)－(施設管理にかかる経費を除いた営業費用)>0円とする。(千円)					-		H27～H30	R1～R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	0	0	0	0	—	—	—	
実績値	-8,294	-11,269	-9,513	-37,596				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
利用人数、毎年2%増加(万人)					-		H27～H30	R1～R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					1,563	1,596	—	
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
旅客収入、毎年2%増加(千円)					-		H27～H30	R1～R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					417,325	432,065	—	
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27～H30	R1～R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27～H30	R1～R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

●経営助成事業(補助金)

- ・天竜浜名湖鉄道株の経営安定化を図るとともに、安全な列車運行のため必要な施設整備に対する助成を行う。
- ・平成25年度に天竜浜名湖鉄道株が策定した中期経営計画に基づき支援を行うもの。
(中期経営計画:平成26～30年度における、経営助成及び施設整備費の計画)
- ・負担率は、県:1/2 沿線市町1/2。
- ・平成30年度に天竜浜名湖鉄道(株)が策定する次期経営計画に基づき、新たな支援計画を策定するとともに、天竜浜名湖線市町会議において第3次地域公共交通連携計画を策定する。

●魅力向上事業

- ・事業の制度化を行い、天浜線の利用促進や沿線地域の交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指す。

●天竜浜名湖鉄道経営助成基金積立金

- ・天竜浜名湖鉄道の経営支援を行うために必要な資金について、県補助金及び沿線市町負担金として集め、基金に積み立てる。
- ・浜松市天竜浜名湖鉄道経営助成基金に一旦積み立て、これを取り崩して経営助成事業に充てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・中期経営計画に基づき、天竜浜名湖鉄道株式会社へ経営助成を行った。
- ・平成30年度は、鉄道施設緊急整備費や車両検査費用等について同計画を超えて支援する必要があると判断されたため、計画よりも79,432千円の増額とした。(計画値 167,000千円 実績 246,432千円)
- ・収支改善により、「施設管理にかかる経費を除いた営業費用」を「営業収益」で賄うことを目標としたが、大河ドラマ「おんな城主直虎」の放映終了に伴うフリー一切符の減による旅客収入が減額になったことにより達成できなかった。
- ・魅力向上事業について制度化を図り、事業提案者からの寄附金を基に天浜線沿線の緑化事業を進めた。
土壌改良及び植栽:3箇所、土壌改良:2箇所
- ・輸送人員 H28:1,549千人、H29:1,625千人、H30:1,546千人

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

県や沿線市町と協力し、天竜浜名湖鉄道(株)が策定した経営計画に基づき、第3次地域公共交通連携計画は沿線住民利用者や関係者からの意見を広く取り入れ、地域に密着した鉄道となるべく計画として策定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・沿線市町の首長等が平成30年度総会で、天竜浜名湖鉄道(株)が策定した令和元年度からの経営計画(R1～R5)に基づき、令和5年度までの同会社への支援を決定した。
- ・経営計画の目標値や収支計画を精査し支援を行っていくと同時に、天竜浜名湖線市町会議において策定した第3次天竜浜名湖鉄道地域公共交通総合連携計画に基づき利用者促進を図っていく。

事業シート (事業名) 交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	4,099	9,438	5,022	4,906	9,607
	決算	3,571	7,829	4,232	4,488	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	3,571	7,829	4,232	4,488	9,607
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		21,000	21,000	21,000	19,640	16,140
人工	正規	3.0	3.0	3.0	2.6	2.1
	再任用(h31)				0.4	0.4
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して

(予算費目名) 駐車場事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。このため、市営5駐車場を供用することにより、中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。一方、市が駐車場を運営する必要性が希薄になっていることから、令和元年度までの現駐車場経営計画では駅南地下駐車場を除く4駐車場について、売却または廃止の方向性が示されている。ただし、ザザシティ駐車場建設事業債の償還が終了する令和4年度までは、返済原資を確保するために運営を継続する。駅南地下駐車場については浜松駅送迎機能を有することから、長寿命化計画に基づき、運営を継続する。上記をふまえ、今年度、令和4年度までの新たな駐車場経営計画を策定する。

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	698,179	503,733	560,682	583,176	541,973
決算	692,073	476,985	536,407	579,976	
人件費(A)	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	699,073	483,985	543,407	586,976	548,973

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
				目標	実績	目標	実績	目標
廃止・売却する駐車場	箇所	4	目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。このため、市営5駐車場を供用することにより、中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・5駐車場を指定管理者制度(利用料金制)により効率的に供用できた。 ・駐車場の健全な供用を継続できるよう、駅南地下駐車場の劣化調査及び長期修繕計画の策定を行った。 ・課題としては、施設の老朽化が著しく、多くの修繕箇所が発生しているが、4駐車場については今後廃止の方向もあり計画的な修繕が行えず、不良箇所について後追い修繕となっている。 ・駐車台数、H29:1,072,603台、H30:1,123,573台 ・駅南地下駐車場20分以内駐車台数 H29:87,601台、H30:113,470台 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	駐車場事業					548,973	541,973	1.0				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						548,973	541,973	1.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 駐車場事業

◇事業目的・事業対象

中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

◇事業の概要

- ・市営5駐車場(新川北・新川南・駅北・ザザシティ・駅南地下)について、引き続き指定管理者制度(利用料金制)により維持管理を行う。
- ・施設の機能を維持するため、各駐車場の修繕などを行う。
- ・新川北、新川南駐車場現況調査において、施設の劣化調査及び耐震診断を実施する。
- ・令和元年度までの現駐車場経営計画では駅南地下駐車場を除く4駐車場について、売却または廃止への方向性が示されている。ただし、ザザシティ駐車場建設事業債の償還が終了する令和4年度まで、駐車場運営を継続する。駅南地下駐車場については浜松駅送迎機能を有することから、長寿命化計画に基づき運営を継続する。
- ・上記をふまえ、今年度、令和4年度までの新たな駐車場経営計画を策定する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	R4	特別会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	698,179	503,733	560,682	583,176	541,973
	決算	692,073	476,985	536,407	579,976	
	国・県支出					
	市債					
	その他	13	13	45	102	6,548
	一般財源	489,964	294,391	356,175	420,322	378,717
	一般会計繰入金	202,096	182,581	180,187	159,552	156,708
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.2
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市営駐車場を供給することにより、中心市街地での交通渋滞や違法駐車の抑制が図られ、中心市街地での機能向上と、よりよい交通環境が整えられ、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
廃止・売却する駐車場(箇所)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	0	0	0	0	0		4	
実績値	0	0	0	0				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・市営5駐車場(新川北・新川南・駅北・ザザシティ・駅南地下)の維持管理を指定管理者制度(利用料金制)により行った。
- ・駐車場の健全な供給を継続できるよう、駅南地下駐車場の劣化調査及び修繕計画の策定を行った。
- ・施設機能を維持するため、各駐車場の修繕などを行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・H27年度から利用料金制を導入、民間の経験や資金を施設に対して投入した。
- ・駐車場の健全な供給を継続できるよう、駅南地下駐車場の劣化調査及び長期修繕計画の策定を行った。
- ・施設機能を維持するため駅北駐車場の排煙設備改修工事を行った。
- ・施設の老朽化が著しく、多くの修繕箇所が発生しているが、駅南地下駐車場を除く4駐車場については、売却または廃止の方向性が示されていることもあり、計画的な修繕が実施できていない状況である。
- ・売却または廃止に向けた調整が必要。
- ・駐車台数 H29: 1,072,603台、H30: 1,123,573台・駅南地下駐車場20分以内駐車台数 H29: 87,601台、H30: 113,470台

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・指定管理者納入金において、固定額について指定管理者が指定管理者選定時での提案により、納付額が大幅に増額した。

また、指定管理者の積極的な営業努力により、利用台数及び利用料金とも前年度を上回り、指定管理者納付金について変動納付額を合わせ前年度実績を上回った。

駐車場事業納付金 固定額 H29:321,200千円、H30～:375,000千円

H29 固定額:321,200,000円 変動額:39,121,000円 合計:360,321,000円

H30 固定額:375,000,000円 変動額:29,045,000円 合計:404,045,000円

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・中心市街地においては多くの民間事業者が駐車場事業を行っており、令和4年度のザザシティ駐車場建設事業債の償還以降、駅南地下駐車場を除き売却または廃止する方向性が示されている。現駐車場経営計画は令和元年度にて終了するため、今年度、新たに令和4年度までの計画策定を行う。

・駅南地下駐車場においては、平成30年度に策定した修繕計画に基づき、計画的な修繕を実施する。